

NEWSLETTER

# マネージメント情報

2021年9月



*Total Herd Management Service*

この記事は、機関誌や日常の出来事の中からわれわれが注目した話題を皆様に提供するものです。  
ご質問、ご要望などなんでもお寄せください。今後テーマとして取り上げたいと思います。

## マネージメント情報

生後日数

### ※福之姫 F1 体外受精卵の現状について

マネージメント情報で THMS ラボが福之姫 F1 の体外受精卵を生産しているということを何度か紹介してきました。

ホクレン根室地区家畜市場の直近6ヶ月の F1 の取引価格についてまとめましたので紹介します。

表-1は取引価格の上位 20 位の内容です。何と 20 位中 19 頭が福之姫 F1 の体外受精卵産子です。

しかも THMS の授精の顧客農場が 16 農場 (80%) を占めています。

調査期間の全体 (8949 頭) の平均の取引価格は 136,761 円となっています。

福之姫 F1 の体外受精卵産子 54 頭の平均取引価格は 269,446 円で全体平均取引価格の約 2 倍となっています。また取引価格が 30 万円以上の種雄牛の殆どが福之姫となっています。

このことは THMS の授精業務の自慢ということでは無く、同じ F1 の初生牛の市場価格差がこんなにあるということをみなさんにお伝えしたいということです。

ポイントは子宮の生産性という考え方になります。現在の福之姫 F1 の体外受精卵の単独移植の受胎率は約 50% ですので、2 回の移植 (受精卵代 + 移植技術料) × 2 のコストが発生しますが、平均すると必要経費は 4 万円前後となります。F1 初生の平均価格との差が 13 万円ですから、差し引き 9 万円の差となります。表-1 の最高価格が 378,000 円ですので、この価格と平均価格との差は 2 回の移植コストを考慮しても 20 万円となります。

飼料コストが高騰している中、上昇分を乳代でカバーするという考え方もあるでしょうが、子宮の生産性という発想を持つことによってそれなりに所得は間違い無く上がります。

表の中に四角で囲っている数字は出荷時の生後日数です。約半分は 2 週間前後で市場に出荷されていますので、和牛と違い短期間で出荷できますので黒毛和牛よりは効率が良く酪農家向きかと思っています。

福之姫の精液は LIAJ (家畜改良事業団) から販売されていますが、定価は 10,000 円です。しかし福之姫は全国的にたいへん人気のある種雄牛なので、黒毛和牛の繁殖農家ですらなかなか入手できない精液となっているのが現実です。しかし、食肉処理場由来のホルスタインの卵巣から卵子を吸引し、福之姫の精液 1 本で体外授精 (IVF) をおこなうと卵巣の数 (卵子数) にもよりますが、1 回の体外授精で 50~100 個の移植可能な体外受精卵を作出することができます。(効率の良い体外受精卵生産) また、福之姫は子出しが大きいので体外受精卵には向かない (過大児のリスク) と考えられていましたが、われわれの培養系ではこの過大児のリスクも殆どありません。(予定日を過ぎた場合には若干の過大児がありました) が、予定日で生まれない場合は分娩誘起を推奨)

THMS で作出している福之姫 F1 の体外受精卵は家畜改良事業団を通して全国に販売していますので、現在はどなたでも入手可能となっていますので、興味のある方は担当の授精師さんに確認してみてください。

【表-1】

NO	精液名	性別	体重(kg)	日数	価格	JA	農家
1	183 福之姫	♂	93	49	378,000	JA上春別	THMS
2	107 無津照重	♂	61	44	370,000	JA根室	
3	229 福之姫	♂	83	39	354,000	JA上春別	THMS
4	235 福之姫	♂	85	25	349,000	JA計根別	THMS
5	210 福之姫	♂	62	17	344,000	JA計根別	THMS
6	1 福之姫	♂	60	14	340,000	JA計根別	
7	94 福之姫	♂	77	43	337,000	JA上春別	THMS
8	183 福之姫	♂	55	8	335,000	JA計根別	THMS
9	233 福之姫	♂	69	43	331,000	JA上春別	THMS
10	147 福之姫	♂	59	15	331,000	JA計根別	THMS
11	25 福之姫	♂	91	48	328,000	JA上春別	THMS
12	224 福之姫	♂	67	17	326,000	JA西春別	THMS
13	83 福之姫	♂	52	11	322,000	JA計根別	THMS
14	194 福之姫	♂	86	49	322,000	JA上春別	THMS
15	249 福之姫	♂	63	44	321,000	JA上春別	THMS
16	284 福之姫	♂	65	10	320,000	JA中標津	
17	217 福之姫	♂	62	24	316,000	JA西春別	THMS
18	259 福之姫	♂	63	40	313,000	JA上春別	THMS
19	234 福之姫	♂	54	12	312,000	JA西春別	
20	216 福之姫	♂	62	14	309,000	JA西春別	THMS

F1 では無く、黒毛和牛の受精卵を移植するとその差はもっと大きくなりますが、黒毛和牛の子牛が誕生した後にしっかり健康管理できるか？という農場間の哺育技術の差による事故の問題があり、黒毛和牛の ET は全ての酪農家にあてはまるわけではありません。しかし、F1 よりは間違い無く取引価格は高くなります。黒毛和牛の繁殖農家は分娩と哺育は普通におこなっているわけですから、私は酪農家ができないということにはならないと考えていますが、いかがでしょうか。

【表-2】ホクレン根室地区家畜市場の直近 6 ヶ月に取引された F1 の 8,850 頭の上位 50 頭

ID	頭数	性別	体重(kg)	年齢	販売額	JAS	販賣
1	123	雄牛	50	43	375,000	JA上會引	THMS
2	124	母牛	61	42	370,000	JA上會引	
3	222	雄牛	50	39	354,000	JA上會引	THMS
4	223	雄牛	50	38	343,000	JA上會引	THMS
5	224	雄牛	50	37	344,000	JA上會引	THMS
6	225	雄牛	50	36	343,000	JA上會引	THMS
7	226	雄牛	50	35	343,000	JA上會引	THMS
8	227	雄牛	50	34	343,000	JA上會引	THMS
9	228	雄牛	50	33	327,000	JA上會引	THMS
10	229	雄牛	50	32	325,000	JA上會引	THMS
11	230	雄牛	50	31	321,000	JA上會引	THMS
12	231	雄牛	50	30	321,000	JA上會引	THMS
13	232	雄牛	50	29	323,000	JA上會引	THMS
14	233	雄牛	50	28	323,000	JA上會引	THMS
15	234	雄牛	50	27	323,000	JA上會引	THMS
16	235	雄牛	50	26	323,000	JA上會引	THMS
17	236	雄牛	50	25	323,000	JA上會引	THMS
18	237	雄牛	50	24	312,000	JA上會引	THMS
19	238	雄牛	50	23	312,000	JA上會引	THMS
20	239	雄牛	50	22	312,000	JA西會引	THMS
21	240	雄牛	50	21	312,000	JA上會引	THMS
22	241	雄牛	50	20	312,000	JA上會引	THMS
23	242	雄牛	50	19	309,000	JA上會引	THMS
24	243	雄牛	50	18	309,000	JA上會引	THMS
25	244	雄牛	50	17	309,000	JA西會引	THMS
26	245	雄牛	50	16	309,000	JA上會引	THMS
27	246	雄牛	50	15	309,000	JA西會引	THMS
28	247	雄牛	50	14	309,000	JA西會引	THMS
29	248	雄牛	50	13	309,000	JA上會引	THMS
30	249	雄牛	50	12	309,000	JA西會引	THMS
31	250	雄牛	50	11	309,000	JA上會引	THMS
32	251	雄牛	50	10	309,000	JA上會引	THMS
33	252	雄牛	50	9	309,000	JA西會引	THMS
34	253	雄牛	50	8	309,000	JA上會引	THMS
35	254	雄牛	50	7	309,000	JA上會引	THMS
36	255	雄牛	50	6	309,000	JA上會引	THMS
37	256	雄牛	50	5	309,000	JA上會引	THMS
38	257	雄牛	50	4	309,000	JA上會引	THMS
39	258	雄牛	50	3	309,000	JA上會引	THMS
40	259	雄牛	50	2	309,000	JA上會引	THMS
41	260	雄牛	50	1	309,000	JA上會引	THMS
42	261	雄牛	50	0	309,000	JA上會引	THMS
43	262	母牛	50	41	324,000	JA中庫券	
44	263	母牛	50	40	312,000	JA上會引	THMS
45	264	母牛	50	39	312,000	JA上會引	THMS
46	265	母牛	50	38	312,000	JA西會引	THMS
47	266	母牛	50	37	312,000	JA上會引	THMS
48	267	母牛	50	36	312,000	JA上會引	THMS
49	268	母牛	50	35	312,000	JA西會引	THMS
50	269	母牛	50	34	312,000	JA上會引	THMS
51	270	母牛	50	33	312,000	JA上會引	THMS
52	271	母牛	50	32	312,000	JA西會引	THMS
53	272	母牛	50	31	312,000	JA中庫券	
54	273	母牛	50	30	312,000	JA上會引	THMS
55	274	母牛	50	29	312,000	JA中庫券	
56	275	母牛	50	28	312,000	JA上會引	THMS
57	276	母牛	50	27	312,000	JA中庫券	
58	277	母牛	50	26	312,000	JA上會引	THMS
59	278	母牛	50	25	312,000	JA中庫券	
60	279	母牛	50	24	312,000	JA上會引	THMS
61	280	母牛	50	23	312,000	JA中庫券	
62	281	母牛	50	22	312,000	JA上會引	THMS
63	282	母牛	50	21	312,000	JA中庫券	
64	283	母牛	50	20	312,000	JA上會引	THMS
65	284	母牛	50	19	312,000	JA中庫券	
66	285	母牛	50	18	312,000	JA上會引	THMS
67	286	母牛	50	17	312,000	JA中庫券	
68	287	母牛	50	16	312,000	JA上會引	THMS
69	288	母牛	50	15	312,000	JA中庫券	
70	289	母牛	50	14	312,000	JA上會引	THMS
71	290	母牛	50	13	312,000	JA中庫券	
72	291	母牛	50	12	312,000	JA西會引	THMS
73	292	母牛	50	11	312,000	JA中庫券	
74	293	母牛	50	10	312,000	JA上會引	THMS
75	294	母牛	50	9	312,000	JA中庫券	
76	295	母牛	50	8	312,000	JA上會引	THMS
77	296	母牛	50	7	312,000	JA中庫券	
78	297	母牛	50	6	312,000	JA上會引	THMS
79	298	母牛	50	5	312,000	JA中庫券	
80	299	母牛	50	4	312,000	JA上會引	THMS
81	300	母牛	50	3	312,000	JA中庫券	
82	301	母牛	50	2	312,000	JA上會引	THMS
83	302	母牛	50	1	312,000	JA中庫券	
84	303	母牛	50	0	312,000	JA上會引	THMS

上位 50 頭の内半分以上が福之姫 F1 となっています。31 軒が THMS の顧客です。何度も書いていることですが、酪農場で肉牛を生産する (Beef on Farm) という考え方方はホルスタインの雌雄判別精液の普及により成立することは忘れてはいけません。

一般的には授精後 60 日を経過してからおこなう再妊娠時の胎児の雌雄判別で雌雄の確定も大事な技術になります。

私は授精師さんの考え方、授精や ET の対応によって酪農家の生産性は大きく変わってくると思っています。私が獣医師になった 40 年前はホルスタインの通常精液しかありませんでした。農場によって雌が多く産まれたり、雄が多く産まれたりして、何となく不公平感といいますか、運が酪農場の経営に影響していた様に感じていたことを思い出します。

しかし現在はほぼ自由に計算して計画的に子牛を生産することができます。

牛の種類の決定は 100% 可能です。雌雄判別は理論上 90% の確率で選択することが可能です。

この技術を酪農家と獣医師、授精師が理解して牛群の繁殖管理をおこなうことができれば誰でも【表-1】【表-2】【表-3（次ページ）】の様に子宮の生産性をコントロールすることができるという事実を今一度みなさんにお伝えしたいと思いました。

今回は F1 の初生牛の市場価格について紹介させていただきましたが、われわれが作出（生産）している体外受精卵は F1 (福之姫の他の種雄牛もオーダー可能) の他に、ハイゲノムのホルスタイン種（ドナーのゲノム値によって価格帯が異なります）、黒毛和牛（登録可能・無登録）、シャロレー（フランス原産肉牛）、モンベリアール（判別精液使用）とホルスタイン（TPI:2500 以上と食肉検査場由来の 2 種類）の F1 があります。地元にこの様にいろいろな種類の体外受精卵を作出（生産）している施設があり、どなたでも利用できるということを改めてお伝えしたいと思います。

【表-3】 R3.2.24-R3.9.1 ホクレン根室地区家畜市場の  
F1 初生牛の雌雄平均価格と最高価格とその種雄牛

市場開催日	♂	♀	MAX	種雄牛
R3.2.24	137,599	96,274	313,000	福之姫
R3.3.3	136,873	94,988	370,000	美津照重
R3.3.10	133,353	112,046	239,000	福之姫
R3.3.17	143,296	102,076	320,000	福之姫
R3.3.24	141,472	105,027	260,000	百合芳
R3.3.31	142,560	106,406	247,000	百合芳
R3.4.7	157,263	108,472	354,000	福之姫
R3.4.14	147,547	103,634	269,000	鈴 言
R3.4.21	155,206	109,353	326,000	福之姫
R3.4.28	153,243	119,569	255,000	鈴 言
R3.5.5	166,965	101,012	344,000	福之姫
R3.5.12	158,943	114,551	252,000	鈴 言
R3.5.19	160,411	118,772	299,000	秋志平
R3.5.26	178,328	119,201	269,000	秋志平
R3.6.2	167,538	118,333	256,000	勝 吾
R3.6.9	182,829	133,864	300,000	福之姫
R3.6.16	204,320	138,986	278,000	宗津百合55
R3.6.23	233,884	152,073	349,000	福之姫
R3.7.7	209,154	137,879	340,000	福之姫
R3.7.14	204,643	140,044	288,000	百合芳
R3.7.21	210,050	135,937	378,000	福之姫
R3.7.28	210,876	122,122	331,000	福之姫
R3.8.4	188,574	123,735	331,000	福之姫
R3.8.11	185,131	119,560	335,000	福之姫
R3.8.25	159,989	97,914	306,000	福之姫
R3.9.1	152,926	101,363	278,000	秋志平

R3.2.24-R3.9.1 の F1 の雄雌の平均価格とその時の最高価格の単価と種雄牛です。  
30 万円を超える価格は福之姫だけということがわかります。  
また、平均価格との差の大きさについても実感していただけるのではと思います。

#### ※新型コロナウイルスの感染の終息について

9月1日に顧客および関係機関の皆様へFAXでお知らせしましたが、感染者2名の退院の後2週間経過観察をし、二度目の職員全員の検査をおこない全員陰性という結果が出ました。弊社といたしまして8月31日をもちまして社内の新型コロナウイルスの感染の終息という判断をいたしました。

その間皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけしましたが、今後もより一層社内外への感染拡大防止に向けて最大限努力して参りたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症が1日も早く終息し、通常どおりの生活に戻れる日がくることを願ってやみません。

# 【2015 年⇒2021 年の全顧客農場の繁殖成績の推移】

## はじめに

本当に久しぶりの M 情報となりました。今回は、THMS が繁殖管理をさせていただいている全顧客農場の繁殖成績の推移をまとめました。約 70 件の農家さん（当然ですが農場名は伏せます）の妊娠率、発情発見率(授精率)、受胎率の 3 点を 2015 年と 2021 年（7 月時点）で比較しました。

## 2015 年度

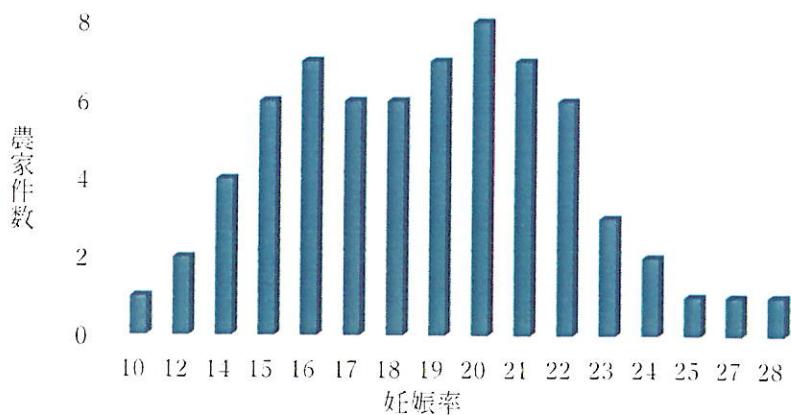
2015 年度の妊娠率の分布です。横軸が妊娠率、縦軸がその妊娠率だった農家の件数です。例えばグラフの左端は妊娠率 10% の農場が 1 件あったことを示しています。以下に妊娠率、発情発見率、受胎率の平均値も示します。

妊娠率：18.7%

発情発見率：50%

受胎率：39%

2015年の妊娠率の分布



## 2021 年との比較

次に 2015 年と 2021 年を並べて示します。オレンジ色が 2021 年です。パッと見てわかる通り、2015 年よりも右側、つまり妊娠率の高い農場の数が増えていることがわかると思います。2021 年の妊娠率、発情発見率、受胎率のそれぞれの平均は

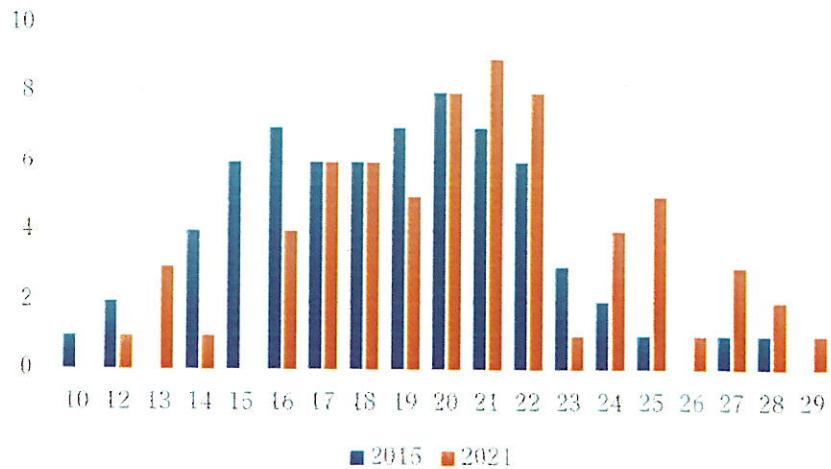
妊娠率：20.5%

発情発見率：50%

受胎率：41.5%

\* それぞれの中央値と平均値との差は大きくありませんでした。

2015年と2021年の妊娠率の分布

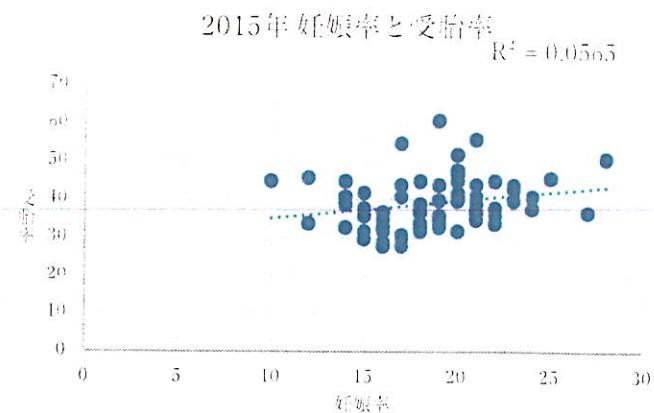
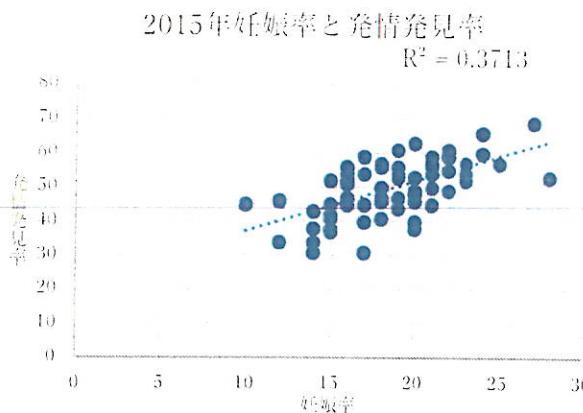


繁殖成績が伸びていると実感している方もそうでない方もいると思いますが、全体としては少しずつ良くなっています！！むしろ改善がみられなければ我々の存在価値がなくなってしまうので、当然と言えば当然ですが、、、数年前は「妊娠率 20% 以上」というのが一つの目標でしたが、**妊娠率 20% は今や平均より下です！**また、2015 年には妊娠率 25% を超える農場は本当に一握りでしたが、今は 10 件以上です。今後は、まず最低ラインとして 20% を超えるように、そして次は 25% をを目指しましょう！ちなみに、アメリカのデータでは 2019 年の妊娠率の平均値が **21.6%**、ウィスコンシン州に限れば **23.2%** という報告もあります。わざわざアメリカと比較する必要はないかもしれません、繁殖成績改善の余地はまだあるということは確かです。

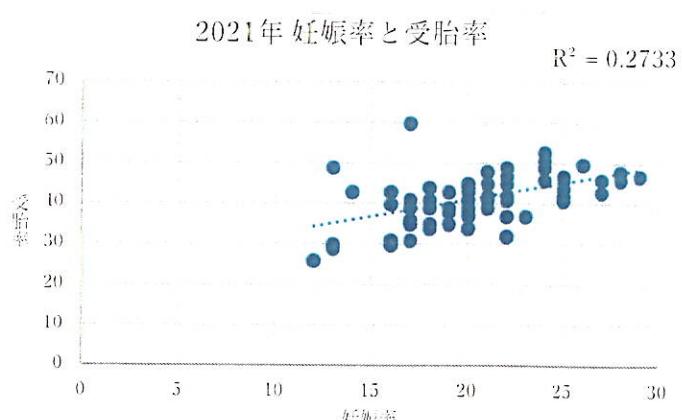
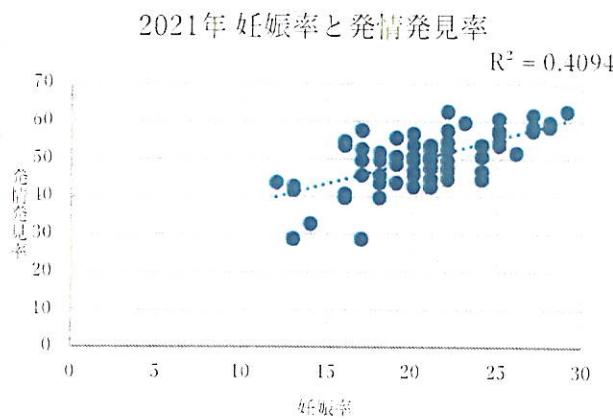


Total Herd Management Service

## この結果をもう少し考えてみる



上の二つのグラフは 2015 年の妊娠率を横軸に、縦軸にそれぞれ発情発見率と受胎率を並べました。左のグラフから、妊娠率の高い農場の方が発情発見率も高い傾向があるようにみえます。しかし、受胎率については、どちらかというと、妊娠率に関わらず、ばらばらの受胎率です。



上に示したグラフは 2021 年の妊娠率を横軸に、縦軸にそれぞれ発情発見率と受胎率を並べたものです。発情発見率と妊娠率には 2015 年より高い相関がみられました。つまり、発情発見率（授精率）の高い農家さんほど繁殖成績が良くなる傾向が強くみられました。さらに、受胎率にも低い相関がみられました。

結果から考えると、受胎率の向上がこの 6 年間の繁殖成績の向上につながったのは間違いなさそうです。もちろん、それぞれの農家さんが管理方法を試行錯誤したことがこの結果につながったことは間違いありません。加えて、定時 A I プログラムの改良や受精卵移植方法など、この数年間で多くの研究報告があり、それらを取り入れた結果、受胎率の向上がみられたのではないかと思います。また、活動量計などのデバイスの進化で発情を正確に見つけることができるようになったことも要因の一つだと思いますが、発情発見率は向上していません。その理由としては、発情徵候を示さないウシや現在の活動量計では感知しきれないものもやはり一定数存在しているのではないかと推測されます。

今回、このグラフを示した理由は、繁殖検診をしている農家さんにもう一度、自身の農場の妊娠率、発情発見率、受胎率を見てほしいと思ったからです。皆さんそれぞれの農場の繁殖成績はどれくらいの位置にいるのか、改善すべきは発情発見率なのか受胎率なのか、そしてそのためにはどういった管理が必要なのかを、改めて担当獣医、授精師と話し合う機会になればと思います。

岩澤裕介



Total Herd Management Service

# 【乳房炎の治療日数】

## はじめに

7・8月のM情報で、上半期の乳汁検査の結果をお伝えしました。今月は引き続き乳房炎についてお伝えしたいと思います。

## 乳房炎治療日数

弊社に乳汁検査を依頼した場合、結果のFAXを送信しています（乳房炎を診療した際も同様）。結果FAXには検査分房、菌種、菌数、感受性薬剤、コメント等が記載されています。コメントには菌種の特徴や推奨される治療日数が記入されています。

では、実際に必要な治療日数は何日なのでしょうか？乳房炎治療において、菌種に限らずとりあえず3日間を1クールとして、症状の改善が無い場合は抗生素を変更する又はもう1クール実施してはいませんか？表1に乳房炎原因菌別の治癒率を示します。

黄色ブドウ球菌（SA）は治療しなければ（0日）治癒率はほぼ0%で、8日間治療しても治癒率は約40%であり、難治性乳房炎であることが分かります。一方で環境性ブドウ球菌（CNS）は治療しなくとも（0日）約60%が治癒しています。

環境性レンサ球菌は2日の治療では約60%の治癒率であり、8日間治療することで治癒率は約80%まで上昇します。これは難治性乳房炎として知られるウベリスが3日間の抗生素治療では治癒率が非常

に低く、1週間以上治療を続けることで治癒率を80%まで高めることができます。2021年1～6月までの弊社での乳汁検査の結果、環境性レンサ球菌の約6割がOS、約3割がウベリス、約1割がエンテロコッカスとなりました。オンファームカルチャーを実施している農場は参考にしてみて下さい。

意外と思われるかもしれません、大腸菌は治療しなくとも（0日）約80%が治癒しています。残りの10%が急性乳房炎を、そして残りの10%はエンドトキシンに過剰に反応し甚急性乳房炎を発症します。大腸菌は乳房内の乳汁中に浮遊しており、搾り切りによって多くの大腸菌が排出されるためだと思われます。クレブシエラは大腸菌と比べて宿主順応性が強く、乳房内でより長く生息できることから、症状が大腸菌と同程度であっても長く治療を行う必要があります。

## 最後に

乳房炎治療において、菌種・感受性薬剤関係なく盲目的に3日間1クールの治療をするよりも、菌種を特定し、感受性薬剤、推奨される治療日数を守って適正な治療を実施する方が結果的に経済的だと考えます。なかなか改善しない乳房炎に苦労している方は乳汁検査を実施し、適切な薬剤で、適切な日数治療してみてはいかがでしょうか？

富田大祐

表1 乳房炎原因菌別の治癒率

治療日数	0日		2日		4日		8日	
	初産	経産	初産	経産	初産	経産	初産	経産
黄色ブドウ球菌	5	0	15	10	25	20	40	35
環境性ブドウ球菌	60	55	75	70	80	75	85	80
環境性レンサ球菌	30	25	60	55	70	65	80	75
大腸菌	80	75	90	85	90	85	90	85
クレブシエラ	40	35	50	45	50	45	50	45
菌検出無し	95	90	95	90	95	90	95	90

単位：%

黄色ブドウ球菌=SA 環境性ブドウ球菌=CNS 環境性レンサ球菌=OS



Total Herd Management Service

## 受精卵課通信 No.38

こんにちは、受精卵課の筒井です。

もうそろそろ、昨年の10月から始動した顧客農場さんの集中OPUから一年が経とうとしています。一年が経つと同時に、データも少しづつ溜まってきたました。

そこで、今回はそのデータの中からOPUを重ねるごとの卵子の回収数と発生率の変動を簡単にまとめてみました。

OPUの回数を重ねていくと、回収される卵子の数が減少していっているのが体感としてあります。

当ラボでは、1ドナーに対して2週間に1度OPUを行っています。卵巣の回復状態や、ホルモン耐性など卵子数が減っていってしまうのは必然的と考えられます。

回収させる卵子の数が減っていくとはいって、どのくらい減っていっているのか？が気になったので、データをもとに簡単なグラフを作成してみました。

1ドナーに対し、初回のOPUから5回分ほどの卵子回収数と発生率をまとめるつもりだったのですが、そもそも5回もOPUしている牛が限られてしまうことや、卵巣の回復を待つために間隔を空けている牛などがいるため、条件を次のように揃えてみました。

- ・OPUの間隔が1か月以上空いていない牛
- ・3回分の回収数、発生率
- ・昨年10月～今月までのOPU

まとめた結果が右のグラフです。

棒グラフが卵子回収数、折れ線グラフが胚発生率です。卵子回収数は、平均で20個→19個→16個とやや減少傾向を表しました。

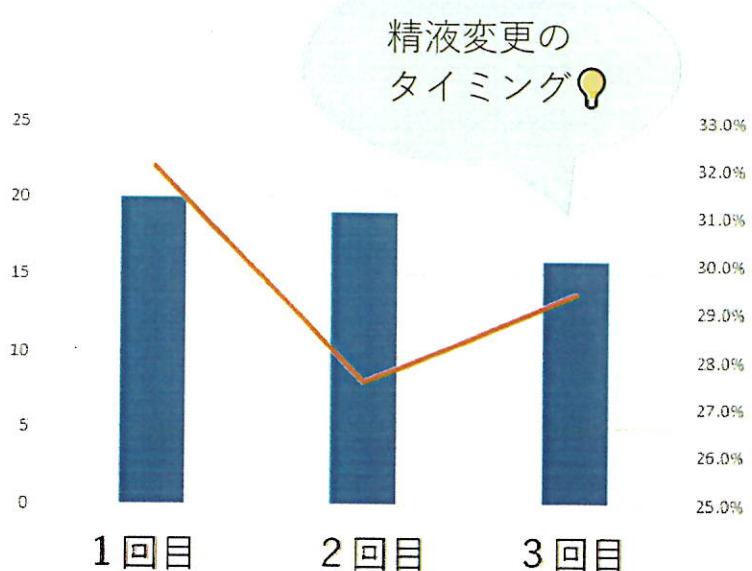
3回分という少ないOPU回数だからか、思ったよりも卵子回収数の変化はみられませんでした。

また、胚発生率ですが一番発生率が落ちると思われた3回目が2回目よりも上昇しています。

これは、体外受精時の精液との相性を考慮し、3回目で精液を1、2回目のものから変更したためと考えられます。OPU1回目、2回目と発生率が立て続けに悪い場合、その要因の一つとして卵子と精液の相性が悪いということが挙げられます。その回避策として、当ラボでは相性が良くなさそうなら精液を変えてあげることをしばしば行っています。実際データをまとめながら精液も見ていましたが、3回目で精液を変更している回数は多かったです。そのため、このようなグラフになったことが示唆されます。本来ならば、条件で精液も三回とも統一させなければならぬのですが、そうなってしまうとn数がかなり減ってしまうので、今回はこのような条件でまとめさせてもらいました。

恐らく5回分くらいにしたらもっときれいなグラフになると思うので、またデータが集まり次第報告できたらなと思います。読んで頂きありがとうございます。

筒井



## 【ピルスーの販売終了について】

### 乳汁検査室からのお知らせです

乳房炎治療に使用している抗生物質「ピルスー」が販売終了となりましたので、M情報の場を使って周知させて頂きます。

乳汁検査結果FAXの感受性でPLM（ピルリマイシン）と表記されていた抗生物質になります。これは従来の乳房炎治療薬とは抗生物質の種類として大きく異なるもので、使用期間も短い為か感受性をもつ乳房炎菌も多かったのですが、この度メーカー様から販売中止という連絡がきました。



同じ、もしくは似ている乳房炎治療薬も現在販売はされていない為、今後皆様にお返ししている乳汁検査結果FAXからPLMの項目が削除されます。

まだピルスーの在庫をお持ちで、乳房炎治療に使用している方もいらっしゃるかと思われますので、年内いっぱいほどは感受性の試験を行い、検査結果をお送りさせていただく予定です。

岩泉



Total Herd Management Service